



社会科学研究所報告

I 講演会

- 1985年11月11日 Radha P. Sinha 氏 グラスゴー大学教授
“Has Japan Betrayed the Developing Countries?”
- 1985年12月12日 シンポジウム『アメリカの女性研究をめぐって』
有賀夏紀氏 埼玉大学助教授
「女性研究はアメリカ史をどう変えたか」
藤倉皓一郎氏 東京大学教授
「イーコウル・ライツ」
奥出直人氏 埼玉大学講師
「アメリカン・ビューティー——シオンの娘から
マリリン・モンローまで——」
佐藤宏子氏 東京女子大学教授
「19世紀女性作家とアメリカの夢」
司会：青柳清孝氏 本学社会科学科教授
- 1986年2月13日 逸見謙三氏 亜細亜大学教授
「アフリカの食糧・農業問題」
大森元吉氏 本学社会科学科教授
「ケニア農村開発の現状
——教育・経済面の自助努力——」
- 1986年2月13日 古屋安雄氏 本学人文科学科教授
「ハーベイ・コックス——その人と神学——」
- 1986年4月15日 Eric Ross 氏 マウント・アリソン大学教授
“The Beaver and the Kangaroo
—Canada and Australia Compared—”

- 1986年5月29日 Carl F. Christ氏 ジョンズ・ホプキンス大学教授
 “The Financing of the Government Budget in
 Japan and its Relation to Macroeconomic
 Variables: Some Preliminary Results”
- 1986年6月20日 Samuel S. Kim氏 プリンストン大学客員教授
 “The Changing Perception of International Law
 and World Order”

II 人事

- 本研究所所長青柳清孝教授の任期満了に伴い、大森元吉教授が1986年4月1日付で所長に就任された。
- 本研究所研究員滝口直子氏の別府大学への転出に伴い、速水洋子氏(人類学)が1986年4月1日付で研究助手に任ぜられた。

III 海外からの招聘研究員・研究助手

- | | | |
|-------------------|---------------|------------------|
| 宋 正炫氏 | 韓国・全南大学教授 | 1985年9月～1986年8月 |
| 李 邦基氏 | 韓国・全南大学副教授 | 1985年9月～1986年8月 |
| Michael Erony氏 | 南カリフォルニア大学大学院 | 1985年12月～1987年6月 |
| A. B. M. Mahmood氏 | グッカ大学教授 | 1986年4月～1987年3月 |